

## 第21回地理情報システム学会特別セッション（2）

### 「マイクロジオデータの普及と都市・地域分析での利活用」

### に関するご案内

清秋の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。さて表記の通り今年10月13日（土）、14日（日）に広島市の広島修道大学にて開催される地理情報システム学会内にて、昨年に引き続きマイクロジオデータに関する特別セッションを開催いたします。

今年マイクロジオデータを用いた研究、またマイクロジオデータが今後活躍出来ることが期待される業務についての講演が行われます。特に今回は地域分析、まちづくり、地域活性化等に関連する研究・業務を中心にご講演頂く予定です。また公演後には公開ディスカッションも開催いたします。皆様には本セッションにご参加頂けるよう是非ご検討頂ければと思います。

#### <場所>

広島修道大学（広島市） 会場 A

#### <日時>

2012年10月13日（土） 10:50～12:30

#### <参加費>

本セッションのみ参加の方は無料でご参加頂けます。また本セッションにご参加頂いた方は同学会内で開催されるポスターセッション（および機器展示）も無料でご覧頂けます。なお研究発表をご覧頂きたい方は参加費をお支払い頂く必要があります。学会参加費については地理情報システム学会第21回研究発表大会のホームページを御覧下さい。

<http://www.gisa-japan.org/conferences/index.html>

#### <本セッションの概略>

昨年「マイクロジオデータ研究会」と呼ばれる研究会が発足し、マイクロジオデータの普及と利活用について産官学が共同で議論する場が生まれました。マイクロジオデータとは近年利用可能になりつつある、デジタル住宅地図や電話帳のような空間的精度と網羅性が非常に高いデータや、モバイル統計、GPSログ情報、パーソントリップデータ、Webから収集出来る情報など加工余地が高いミクروسケールの非集計データのことを言います。既存の各種統計データでは実現し得なかった時空間的にきめ細やかな計画・解析等への利活用が期待されています。

本セッションでは昨年に引き続き本研究会の紹介を行うとともに、マイクロジオデータを用いた研究を行っている研究者による研究紹介や、今後マイクロジオデータの利活用が期待される領域の実務者などによる講演が行われる予定です。今年は特にまちづくり・中心市街地活性化・高齢化といった都市・地域研究に関連した研究者や実務者にお集まり頂きます。マイクロジオデータ開発と利活用の最先端を知っていただくとともに、研究者同士が持つマイクロジオデータのシーズとニーズを結びつけて活発な議論が交わされることを期待しています。

#### <プログラム>

10:50～10:55 「マイクロジオデータ研究会の紹介」

東京大学地球観測データ統融合連携研究機構 特任研究員 秋山祐樹

10:55～11:10 「マイクロジオデータの紹介とマイクロジオデータ研究の最前線」

東京大学地球観測データ統融合連携研究機構 特任研究員 秋山祐樹

11:10～11:25 「iタウンページを用いた広島市内の商業分析」

広島修道大学商学部商学科 教授 川瀬正樹

11:25～11:40 「広島市佐伯区における地域課題の解決について」

広島市佐伯区地域起こし推進課 高橋正弥

11:40～11:55 「大規模モバイルデータを用いた国土スケールの人流の可視化」

東京大学地球観測データ統融合連携研究機構 特任研究員 上山智士

11:55～12:30 公開ディスカッション・質疑等

・コーディネーター

東京大学空間情報科学研究センター 教授 柴崎亮介

・パネラー

株式会社 JPS 代表取締役 平下治

広島修道大学商学部商学科 教授 川瀬正樹

広島市佐伯区地域起こし推進課 高橋正弥

東京大学地球観測データ統融合連携研究機構 特任研究員 秋山祐樹

東京大学地球観測データ統融合連携研究機構 特任研究員 上山智士

・次回の研究会のご案内

#### <参加登録のお願い>

当日配布を予定している資料の作成部数や会場設営の都合上、事前に大まかな参加者数を把握したいと考えています。そこでご参加頂ける方は以下から参加登録頂ければと思います。なお事前のご登録無しでもご参加頂けます。

<https://docs.google.com/spreadsheet/viewform?formkey=dEFjOE5wQ1Z3OWtUUUNKTUIKai1oR1E6MQ>

<参考：マイクロジオデータ研究会とは>

2011年8月4日に「マイクロジオデータ研究会」と呼ばれる研究会が発足し、マイクロジオデータの普及と利活用について産官学が共同で議論する場が生まれました。マイクロジオデータとは近年利用可能になりつつある、デジタル住宅地図やデジタル電話帳に代表される空間的精度と網羅性が非常に高いデータや、モバイル統計、GPSログ情報、パーソントリップデータ、Webから収集出来る情報など加工余地が高いミクروسケールの非集計データのことを言います。既存の各種統計データでは実現し得なかった時空間的にきめ細やかな計画・解析等への利活用が期待されています。本研究会ではこのようなマイクロジオデータの獲得と加工の方法、マイクロジオデータの具体的な活用シーンの開拓、マイクロジオデータによる既存のデータの代替・補完の可能性の模索、そして新しいマイクロジオデータの発信と共有環境の構築を目指します。そのために「産官学における知識・技術の共有および協力体制の構築」を行う場を設け、各機関の有するシーズ・ニーズを結びつける役割を担っていきます。

<連絡先>

- ・マイクロジオデータ研究会 運営委員長  
東京大学 地球観測データ統融合連携研究機構  
特任研究員 秋山祐樹 (aki@iis.u-tokyo.ac.jp)
- ・顧問  
東京大学 空間情報科学研究センター  
教授 柴崎亮介 (shiba@csis.u-tokyo.ac.jp)
- ・マイクロジオデータ研究会ホームページ  
<http://geodata.csis.u-tokyo.ac.jp/wp/>
- ・本特別セッションに関するホームページ  
<http://geodata.csis.u-tokyo.ac.jp/wp/?p=490>